学会　理事長挨拶

日本テスト学会理事長　繁桝 算男

テスト学会は、テストに関する理論的実証的研究と、社会に役立つ実践的研究のための学会です。テストに絞ったという意味で、日本でも珍しいタイプの学会ですが、テストに特化するとしても、テストに関わる事柄は多面的です。テストができるまでに、設計、開発、頒布のプロセスがあり、また、テストを使うにも、実施、採点、評価、結果の分析のプロセスがあります。また、テストが測定しようとする対象も、能力、学力、性格、態度、行動など多岐にわたります。これらの諸側面において、テスト学会が役に立つ知見を社会に提供することがテスト学会のひとつの目標です。役に立つ知見の提供には、優れた実践的探究と、科学的、数理的、理論的研究がともに必要とされます。たとえば、教育や臨床におけるテスティングについて現場的な発想や実情を伝える記述的研究も必要だし、テストアセスメントの科学的裏付けを与える数理統計学的な理論研究も必要とされます。また両者のアプローチの相互作用も歓迎すべきです。既存の情報科学や統計学の先端的発展をテストという実践の場に応用するという方向性と、テストの開発や適用の観点から生じる問題関心が数理的科学の理論的発展を促す場合もあるでしょう。

私は理事長としての任期中に、次の点で一段と前進しようと考えております。

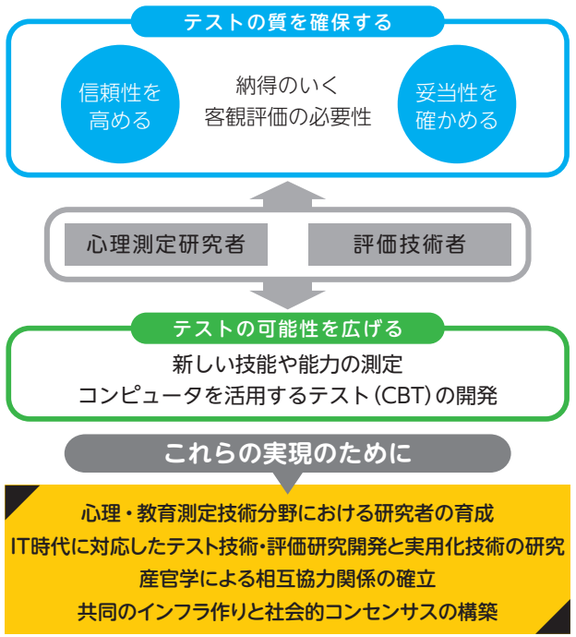
1. テスト学会の国際化：日本におけるテストの研究者や実践者が、自分の研究や実践を世界に発信し、各国の研究者や実践者と協力し、グローバルな活躍をすることを促進する場として学会が機能します。

2. テスト学会の規模の拡大：現代社会が抱える問題の解決の助けになるためには、テスト学会が社会的影響力を持たなければなりません。そのための一つの有力な手段は、会員数を増やすことです。そのための努力を続けます。

3. テスト学会の広報活動の充実：テスト学会が、社会とのつながりを強めるために、学会誌、ホームページをさらに充実させることが必要です。

4. 年次大会の充実：テスト学の創造的な発展は、様々な立場の研究者や実践家の間の交流から生まれることが多いと思います。毎年開催される大会が、テストに関係するすべての方にとって魅力のある集まりにするよう努力します。

繰り返しになりますが、テスト学会は、テストに関することで重要ならば何でも取り上げて考えようという学会です。従来、テスト学会の会員になるには統計学や計量心理学の知識が必要であるような印象を持った方もいるかもしれませんが、そのようなことはありません。ぜひ、ご入会いただき、日本おけるテストを取り巻く環境をよくしていくための種々の議論をすることを心待ちにしております。



日本テスト学会　活動目的

（1）学会の目的

- 科学的根拠に裏付けられたテスト理論に基づく新しいテスト法と評価技術の開発（研究）と普及に寄与する。
- 評価技術の研究開発、普及の必要性を明確にし、産官学を交えた社会一般での合意作りに寄与する。
- 国内、国外の評価技術に対する研究、開発および実施に関する情報の収集と提供を行う。

（2）学会の活動

- 会員提案による新評価技術の検証と開発支援、および普及の促進
- 社会のニーズに向けて、評価技術に関する産官学にまたがった研究交流
- 評価技術およびその応用に関連する各種学会、協会等の団体間の連携および協力関係の構築
- 評価技術の適用に関するガイドラインの提案と作成
- 現代社会の問題解決における評価技術の重要性を認知してもらうための普及啓蒙活動
- 評価技術に関する基礎的知識等の共有化のためのセミナー開催
- 具体的な評価技術に関するプロジェクトへの会員による各種支援
- 国内のCBT（Computer-Based Testing）化により派生する各種新評価技術の開発
- 海外の評価技術研究者との交流や情報収集および提供

日本テスト学会　活動事例

① 年次大会の開催

年１回年次大会を開催し、そこでは各種講演・シンポジウム・研究発表が行われます。会員の方は、本大会での研究発表などを行うことができます。

●過去の大会テーマ例

「世界のテストの趨勢と日本」・「研究と現場を往還するテスト学」・「パフォーマンス評価の未来」・「教育におけるテストの今とこれから」・「スキルを測る」・「社会に貢献するテスト科学」・「テストの科学とその果たす役割」・「医療分野におけるテスト利用の現状と展開」・「テストの科学と日本的風土」・「e-learningの高度化とテスト理論」

② 講演会・研究会・ワークショップの開催

講演会・研究会・ワークショップを随時開催しています。日本テスト学会賞・日本テスト学会論文賞を受賞した先生の記念講演をはじめ、テストに係るワークショップや研究会が随時開催されています。会員の方は、これらのイベントに参加することができます。

③ 学会誌の発行

年に一度、「日本テスト学会誌」を発行します。会員の方は、本学会誌への投稿を行うことができます。

④ 各種表彰制度

1）日本テスト学会賞

原則毎年１名、テストの開発、評価、普及、テスト理論の研究等の分野における優れた業績により、日本テスト学会の活動ひいてはわが国のテスト環境の改善と定着に著しい貢献のあった者を対象として表彰します。

2）日本テスト学会論文賞

原則毎年１名、テストの分野に関する研究、創作について、本学会誌に発表された論文のうちから、特に優秀と認められるものを選定し表彰します。

3）日本テスト学会大会発表賞

原則毎年１名、テストの分野に関する研究、創作について、本会の大会において発表された報告、論文のうちから、今後の進展が期待され、推薦・奨励の対象にふさわしいと認められるものを選定し表彰します。

日本テスト学会　入会のご案内

●会員種類と会費

会員種別		年会費
正会員	研究者、開発者及び会の趣旨に賛同する個人	8,000円
準会員	大学及び大学院に在学する学生、あるいはこれらに相当するもの	4,000円
法人会員	趣旨に賛同する法人で、正会員と同様の手続きで３名以内の個人を登録し、そのうち１名を代表として登録する。	30,000円

本会に、正会員または準会員として入会しようとする者は、正会員１名の推薦により、理事会の承認を得る必要があります。入会に際しては、学会ホームページの「入会案内」より、手続きをお願いします。

www.jartest.jp/member.html

●ご入会等に関しまして、ご不明な場合は以下の学会会員業務係までお問い合わせください。

〔日本テスト学会会員業務係〕

e-mail：jart@pac.ne.jp

日本テスト学会の出版物

「見直そう，テストを支える基本の技術と教育」

（日本テスト学会編、金子書房）

2010年４月20日発行

ISBN 978-4-7608-3412-9

「テスト・スタンダード　日本のテストの将来に向けて」

（日本テスト学会編、金子書房）

2007年９月14日発行

ISBN 978-4-7608-2826-5

日本テスト学会

The Japan Association for Research on Testing

日本テスト学会について

日本テスト学会は、現代に即応したテスト技術に関する研究者を育成し、科学的基礎と教育的理念に裏付けられた新しいテスト法の考え方と評価技術の研究開発・実用化、産官学を交えた共同のインフラ作りと社会的コンセンサスの構築、国内外の評価技術関連情報の収集・提供を目的に2003年５月23日に設立された団体です。

学会では今後も、年次大会、セミナー、ワークショップ等を通じて評価技術に関する研究交流・普及啓蒙活動を行うとともに、評価技術に関するガイドラインの作成や標準化活動支援等に取り組んでいきます。

JART 日本テスト学会　www.jartest.jp